

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33302	食品の加工 Food Processing	山本 淳子	専門	2	選択	1・2年前期
科目の概要						
一次機能である栄養機能、2次機能である嗜好機能、3次機能である生理機能を前提に、食品の加工に関する基本的な考え方、機能が持つ意味を理解する。講義内容は、栄養学、食品に関する基礎知識をもとに、日常よく用いられる個々の食品について、それらの食品学的特性、品質の鑑別法、保存法、食品加工・調理への応用について行う。これらを通し、人と食べ物の関わりについて多様な現代社会の中で、個人のライフスタイルに合った健康的な食生活を営むためのフードスペシャリストとしての必要な知識・能力を養う。						
学修内容			到達目標			
① 身近な食品の加工品について解説し、食品の水分、機能性を学ぶ。			① 基本的な食品の成分を説明できる。			
② 食品の加工がどのような目的で行われているのかを学ぶ。			② 加工品の目的を理解し、説明することができる。			
③ 小テスト、期末試験により、食品の成分と加工特性の理解度を確認する。			③ 食品の加工に関する、フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集を理解して解くことができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	食品の機能性成分について進んで調べることができる。小テストや振り返り問題で点数を取ることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	わからないところは質問や調べて、解決できる。				
考え抜く力	課題発見力	食品の成分と加工特性を理解し、加工における理由を考えることができる。				
	計画力					
	創造力	食品の加工技術について問題点を考え取り組める。				
チームで働く力	発信力	質問に対し、自分の言葉でまとめてわかりやすく伝えることができる。				
	傾聴力	重要ポイントを理解し、メモを取りながら受講することができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語などの講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト: 日本フードスペシャリスト協会編著 「食物学Ⅱ—食品材料と加工、貯蔵・流通技術—」建帛社 参考文献: 日本フードスペシャリスト協会 編 「フードスペシャリスト資格認定試験 過去問題集」建帛社						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 食物学、調理学 資格との関連: フードスペシャリスト						
学修上の助言			受講生とのルール			
シラバスを確認し、テーマに関する食品の主要成分についてまとめておく。授業後は、单元ごとに小テストを行うので、知識を確認し、授業内容の理解と整理をする。			不明な点を質問等により明確にしておくこと。 欠席しないこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	70	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 持ち込みなしの筆記試験を行なう。 食品加工の目的、原理、食品の成分と加工特性についての○×問題や各食品の加工による成分変化、加工流通について問う記述問題などである。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
小テスト	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 小テストは、フードスペシャリスト資格認定試験過去問から出題する。 取り組む姿勢や意欲を確認する。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
レポート		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
作品		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 質問に自ら進んで解答できる。小テストに積極的に取り組み、点を取ることができる。 (実行力、発信力) 疑問点など積極的に質問することができる。質問に対し、自分の考えを分かりやすく説明できる。 (傾聴力) 重要ポイントはメモを取り、疑問点など質問することができる。 (課題発見力、創造力) 講義で学んだ現象を日常生活のこととして捉え、自分の考えをまとめることができる。 (規律性) 受講態度(遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題やその他の提出物の未提出など)、ルールを守って行動できる。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
その他		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)は、食品の成分と加工特性について完璧に説明できている。 A(優)は、身近な食品の加工品についてどのような目的で行われているのか、また、食品の水分、機能性を明確に説明できる。小テスト、期末試験により、食品の成分と加工特性について十分説明できている。	B(良)は、身近な食品の加工品についてどのような目的で行われているのか説明できる。小テスト、期末試験により、食品の成分と加工特性について説明でき、化学的に説明することができる。 C(可)は、小テスト、期末試験により、食品の成分と加工特性についてほぼ説明できているが、化学(科学的)に理解できないところがある。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	●食品加工理論 シラバスの説明。食品加工の意義(目的・安全性など)について学ぶ。	講義と質疑応答	食品加工の意義(目的・安全性など)について説明できる。	(復習)テキスト p2 食品加工の意義についてポイントをまとめ、問題集で関連問題を行い整理しておくこと。(予習)食品の水分についてテキスト p176-178 読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	●水分活性 食品と微生物、水分・温度・pH について理解する。特に、食品の水分活性について理解を深める。	講義と質疑応答	食品の水分活性について説明できる。	(復習)食品の水分についてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。(予習)テキスト p178-183 温度制御について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	●温度制御 食品の保存には冷蔵や冷凍が行われる。冷蔵、冷凍に伴う食品の劣化とその制御について学ぶ。	1~2 回の小テスト 講義と質疑応答	食品の保存には冷蔵や冷凍が行われる。冷蔵、冷凍に伴う食品の劣化とその制御について説明できる。	(復習)冷蔵、冷凍についてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。(予習)テキスト P200-224 個別食品の貯蔵・流通技術について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	●個別食品の貯蔵・流通技術 様々な加工食品の品質変化について学ぶ。植物性食品、動物性食品、嗜好飲料などの基本知識を学ぶ。	小テストの学生による解答発表 解説(フィードバック) 講義と質疑応答	植物性食品、動物性食品、嗜好飲料などの基本の品質変化の知識を説明できる。	(復習)食品の品質変化についてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。(予習)テキスト p3-16 物理的作用による加工法について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	●物理的作用による加工法を理解する。食品の加工法の基本の原理(選別から抽出法などについて)を学ぶ。	3~4 回の小テスト 講義と質疑応答	食品の加工法の基本の原理(選別から抽出法などについて)を説明できる。	(復習)物理的作用による加工法についてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。(予習)テキスト p16-20 化学的作用、生物的作用について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	●化学的作用、生物的作用における加工法を理解する。食品の構成する成分の加工における変化を理解する。ゲル化、加水分解など、微生物、酵素利用について学ぶ。	小テストの学生による解答発表 解説(フィードバック) 講義と質疑応答	食品の構成する成分の加工における変化、ゲル化、加水分解など、微生物、酵素利用について説明できる。	(復習)化学的作用、生物的作用についてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。(予習)テキスト p21-42 穀類について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	●穀類 穀物加工食品(デンプン食品(デンプン糖も含む)、麺類等(即席麺等)について学ぶ。	5~6 回の小テスト 講義と質疑応答	穀物加工食品(デンプン食品(デンプン糖も含む)、麺類等(即席麺等)について説明できる。	(復習)穀類についてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。(予習)テキスト p43-46 いも類について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	●いも類、デンプンの加工品(食品の物性)について学ぶ。	小テストの学生による解答発表 解説(フィードバック) 講義と質疑応答	いも類、デンプンの加工品(食品の物性)について説明できる。	(復習)いも類、でんぷんについてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。(予習)テキスト p48-60 豆類、種実類について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	●豆類・種実類の加工品(乾物・缶詰・保存法)について学ぶ。	7～8回の小テスト 講義と質疑応答	豆類・種実類の加工品(乾物・缶詰・保存法)について説明できる。	(復習)豆類、種実類についてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。 (予習)テキストp61 -76 野菜類、果実類について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	●野菜類・果実類(ドライフルーツ・缶詰など)・きのこ類の加工品について学ぶ。	小テストの学生による解答発表 解説(フィードバック) 講義と質疑応答	野菜類・果実類(ドライフルーツ・缶詰など)・きのこ類の加工品について説明できる。	(復習)野菜類、果実類についてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。 (予習)テキストp77 -96 水産物について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	●海藻類、魚介類、水産練り製品、塩蔵・糖蔵食品、乾燥、薫製品などの加工品について学ぶ。	9～10回の小テスト 講義と質疑応答	魚介類、水産練り製品、海藻類、塩蔵・糖蔵食品、乾燥、薫製品などの加工品について説明できる。	(復習)水産物についてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。(予習)テキストp97 -110 肉類について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	●肉類(牛、豚、鶏)の加工における成分変化と肉類加工食品(ハム・ベーコン・ソーセージ)について学ぶ。	小テストの学生による解答発表 解説(フィードバック) 講義と質疑応答	肉類(牛、豚、鶏)の加工における成分変化と肉類加工食品(ハム・ベーコン・ソーセージ)について説明できる。	(復習)肉類についてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。(予習)テキストp111 -124 卵、乳について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	●卵類の加工品、乳および乳製品の加工品(チーズ・ヨーグルトなど)の加工品について学ぶ。	11～12回の小テスト 講義と質疑応答	卵類の加工品、乳および乳製品の加工品(チーズ・ヨーグルトなど)について説明できる。	(復習)卵、乳製品についてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。 (予習)テキストp125 -160 油脂類について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	●油脂類の加工品について学ぶ。また、油の酸化について学ぶ。発酵食品について、調味料・香辛料について学ぶ。調味料類について学ぶ。	小テストの学生による解答発表 解説(フィードバック) 講義と質疑応答	油脂類の加工品について理解する。また、油の酸化について説明できる。発酵食品について、調味料類について説明できる。	(復習)油脂類についてまとめておく。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。 (予習)テキスト p183 -191 食品の品質変化について読み、ポイントをまとめておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	●個別食品の貯蔵・流通技術 様々な加工食品の品質変化について学ぶ。植物性食品、動物性食品、嗜好飲料などの基本知識を学ぶ。	まとめプリント配付 講義と質疑応答	植物性食品、動物性食品、嗜好飲料などの基本の品質変化の知識を説明できる。	(復習)食品の品質変化についてまとめておくこと。問題集で関連問題を行い整理しておくこと。		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力